

2022年3月8日

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 に脊髄損傷等で入院中に筋内血腫を生じたことがある患者さんへ

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

入院中の脊髄損傷患者に生じた筋内血腫の特徴に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 診療部医長 松岡美保子

3. 研究の目的

当院では年間 50-70 名の新規脊髄損傷・脊髄障害患者のリハビリテーション治療を実施しており、時に転倒・打撲など明らかな誘因がないにもかかわらず筋内血腫を生じる患者を経験する。麻痺域に生じた筋内血腫は、本人に疼痛の自覚がないことや抗凝固薬を服用している患者が多いことから、発見時には巨大な血腫や貧血が進行していることもある。本邦での脊髄損傷患者の筋内血腫の報告は、症例報告や会議録で数例あるのみであり、その特徴は文献的に知ることができない。そこで、脊髄損傷患者のリハビリテーション治療経験の多い当院でその報告をすべきものとする。当院での入院中の脊髄損傷患者に生じた筋内血腫の特徴を明らかにすることにより、留意すべき点（患者グループ、タイミング、内容等）の周知や早期発見に繋がると考える。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

脊髄損傷等の患者さんで、西暦 2012 年 1 月 1 日から西暦 2021 年 12 月 31 日までの期間中に、筋内血腫の治療（検査）を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者背景（年齢、性別、麻痺の状況等）、筋内血腫発生の状況（診断のきっかけ、診断方法、部位、エコーや CT 所見、貧血等の採血結果）、日常生活動作の自立度、服用していた薬、入院からの日数等に関する情報です。

(3) 方法

対象となる患者さんの診療記録から必要事項を一覧表に転記し、個人情報を除いた情報としてデータ解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用さ

れることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。その時点で研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

ありません。

8. 問い合わせ先

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町 5-7

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 診療部 松岡美保子

TEL : 072-683-1212 FAX : 072-683-1272

E-mail : myouse.mihoko@aijinkai-group.com